

様式第 1 号

会 議 録

| | |
|--------|--|
| 会議の名称 | 平成 29 年度第 3 回所沢市高齢者福祉計画推進会議 |
| 開催日時 | 平成 29 年 10 月 12 日(木)午後 3 時から午後 5 時まで |
| 開催場所 | こどもと福祉の未来館 多目的室 3、4 号 |
| 出席者の氏名 | 水野委員・米川委員・浜島委員・岡村委員・高野澤委員・生澤委員・河野委員・山足委員・吉本委員・薦田委員・柴井委員・根本委員・篠崎委員・大島委員・大川委員・石原委員・瀧本委員・斎藤委員 |
| 欠席者の氏名 | 大島委員、横溝委員 |
| 議 題 | (1) 第 7 期高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定について (2) 地域包括支援センターの評価について (3) 報告事項 |
| 会議資料 | 資料 1-1 推進プロジェクト開催結果について 資料 1-2 第 7 期高齢者福祉計画・介護保険事業計画骨子案 資料 1-3 第 7 期高齢者福祉計画・介護保険事業計画総論 (素々案) 資料 2 地域包括支援センターの評価について 参考資料 地域包括支援センター職員数一覧 参考資料 地域包括支援センター一覧 報告資料 1 指定地域密着型通所介護事業所を運営する事業者に対する行政処分 報告資料 2 所沢市第 2 層生活支援コーディネーター業務委託について 報告資料 3 認知症初期集中支援チームの設置について そ の 他 会議次第 差し替え資料 資料 1-3 正誤表 第 2 回会議録 委員名簿 座席表 |

| | |
|-------|---|
| 担当部課名 | 福祉部 植村部長・北田次長 高齢者支援課（瀬能参事・新井主幹・築地主査・秋山主査・足利主査・伊藤主査・坂田主任・宮川主任・松下主事） 介護保険課（井上課長・田畑主査・長浜主任） 健康推進部 保健医療課（前田課長、伊東副主幹） 健康づくり支援課（野上課長、松本副主幹） 事務局 福祉部高齢者支援課 |
|-------|---|

様式第 2 号

| 発言者 | 審議の内容（審議経過・決定事項等） |
|-----|--|
| | <p style="text-align: center;">開会</p> <p>委員長よりあいさつ</p> <p>委員により会議の公開が承認され、傍聴人が入場する（5名）。</p> |
| 事務局 | <p><u>議題(1)第7期高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定について</u> 資料1-1について説明を行う。</p> |
| 委員長 | <p>質問等はあるか？</p> |
| 委員 | <p>「2.総合事業プロジェクト」について、計画策定に向けて近隣市の動向をふまえ、1回あたり報酬の導入に向け検討を継続するということだが、結果はいつ頃わかるのか？</p> |
| 事務局 | <p>年内には事業者にお伝えできるように準備している。</p> |
| 委員 | <p>「1.介護保険プロジェクト」の紙おむつ給付について、年間でいくらかかっているのか？また、それはどこの予算から出ていて、何パーセントを占めているのか？</p> |
| 事務局 | <p>紙おむつ給付に係る予算について、特別給付の要介護2から要介護5の方に対しては、1号被保険者の保険料を財源としており、平成28年度実績で91,209,131円となっている。地域支援事業の軽度者（要支援1～要介護1の方）に対しては、45,352,744円である。それぞれが占める割合についてはデータがない。</p> |
| 委員 | <p>「3.介護予防プロジェクト」の通いの場について、どのような議論がされたのか？</p> |
| 事務局 | <p>本市では、お達者倶楽部や、昨年からはじめたトコロん元気百歳体操などを地域の通いの場の一つとして考えている。その他にも</p> |

| 発言者 | 審議の内容（審議経過・決定事項等） |
|-----|---|
| | <p>地域サロン等、様々な形で地域の中に高齢者が集える場所があり、市民の取組も含めた広い意味での通いの場、介護予防に良い影響を与えていけるような通いの場について、意見出しを行い、第7期計画の3年間で市がさらに支援していくべきことについて議論した。</p> |
| 事務局 | <p>資料1-2について説明を行う。</p> |
| 委員長 | <p>質問はあるか？</p> |
| 委員 | <p>第7期計画（骨子案）「4.介護保険制度の安定的な運営」第2章、第8節について、全国で総人口、労働人口が減少しており、特に介護人材が不足している。他市では特別養護老人ホームをつくったが働き手がおらず、開設できないとの情報もある。介護人材の確保は大変な問題であり、所沢市独自の制度や取組では難しいと思っている。そのため、可能であれば、県などで行っている介護人材確保のための補助制度などの情報を介護事業所に提供してほしい。情報提供があれば、小さな事業所でも公的制度を利用して介護人材の確保ができ、利用者に対してより良いサービスが提供できると思う。</p> |
| 委員長 | <p>全国的な問題だと思うが、県や所沢市独自の介護人材不足に対する対策はあるのか？</p> |
| 事務局 | <p>介護人材を取り巻く状況は大変厳しいと認識している。これまでは都道府県が所管していたが、各保険者がより事業者に近い立場にあり、人材確保や質の向上について計画に記載する旨の指針が示されている。</p> <p>所沢市介護保険サービス事業者連絡協議会にて、ストレス軽減や困難事例、クレーム対応等の研修は行ってきているが、人材確保のための具体的な対策は行ってきていない。今後も研修の開催や、国、都道府県レベルの政策の情報提供をすることで各事業所への支援ができればと考えている。</p> |
| 委員 | <p>第7期計画（骨子案）「各論4 介護保険制度の安定的な運営」</p> |

| 発言者 | 審議の内容（審議経過・決定事項等） |
|-----|--|
| 事務局 | <p>第2章第9節について、所沢市における特徴的な取組とはどのようなものがあるのか？</p> <p>第6期計画にも記載しているが、紙おむつ給付や低所得者助成金制度は市独自の取組である。また、介護保険料の設定は、国では標準設定として、所得に応じて9段階に分けることを示しているが、所沢市は13段階に分けている。第7期計画にどのようなものを位置づけるかは追って示したいと思う。</p> |
| 委員 | <p>第7期計画（骨子案）「各論3地域の課題を解決するための体制づくり」第3章第1節のお達者倶楽部への助成金について、使い道が細かく、飲料なら良いが食事はダメと厳しくなっており、もう少し検討してもらえればと思う。</p> |
| 事務局 | <p>平成29年度から総合事業に移行したことに伴い、食事に関してはデイサービスでも利用者負担になるので、同じ考えで食料については、助成対象外と理解していただければと思う。水分補給に関しては、介護予防の取組をして体を動かした際の脱水を防ぐためにも助成金の対象にしても良いという判断で進めており、助成金の範囲内で活発な活動につなげてもらえればと思う。介護予防の取組に関しては「各論1」の中で詳しく記述したいと考えている。</p> |
| 委員 | <p>各論3第3章第2節について、各地域でボランティア活動をしていると思うが、市ではボランティアについてのPRをどのようにしているのか？もし、PRしていないようであれば、高齢者と関わっているグループはたくさんあると思うので考えてほしい。</p> |
| 事務局 | <p>ボランティア活動に関しては、地域福祉計画の中にもボランティアの推進という位置づけがあるので、市が助成金を出しているボランティア団体以外にも、社会福祉協議会の取組と併せて関係部署と連携を取りながら進めていければと思う。</p> |
| 事務局 | <p>資料1-3、当日差し替え資料について説明を行う。</p> |

| 発言者 | 審議の内容（審議経過・決定事項等） |
|-----|---|
| 委員長 | 質問はあるか？ |
| 委員 | <p>P16「2. 要支援・要介護認定者数の推移と推計」認定率について、実績値では平成27年度、平成28年度、平成29年度のパーセンテージの伸びが少ないのに対し、推計値では平成29年度から平成30年度にかけて0.9%、その後も約0.5%ずつ伸びる推計であるが、この間に変化があると考えているのか？</p> <p>また、地域包括ケア「見える化」システムで、過去の第2期計画、第3期計画あたりの段階で平成30年度を予測したときの認定率はもっと高かったのか。地域包括ケアを実践することで実際は低くなっているなど、今まで行ってきて良かった点や実になっている点が見えると良いと思うが何かあるか。</p> |
| 事務局 | <p>実績値と推計値で認定率の差が大きくなっている点について、地域包括ケア「見える化」システムを用いて算出した暫定値となっている。不自然な推計が出ているため精査する必要があると思う。ただ、後期高齢者の割合が増えることを踏まえると、認定率はこれまでよりも大きな伸び方をすることも考えられる。</p> <p>過去に推計したものと現状の実績を比べることについて、中長期の推計を始めたのが第6期計画からであり、10年前に推計したものと現在を比べることが出来ない。第6期計画においては、平成29年度の認定率を16.7%と推計しており、実績は16.1%であった。因果関係についての正確な分析は行われていないが、要支援認定者数が他市と比べても多いことから、早期のうちからのサービス利用が普及し重度化防止等ができていっているのではと思う。</p> |
| 委員 | <p>今後、インセンティブ付与の話があるが、地域包括ケア「見える化」システムで全国的に比較し、所沢市は優れているから財政的に援助しようとなるのか？ そうなのであれば、推計値等をきちんと出した方が良いのではないか。</p> |
| 事務局 | <p>インセンティブ付与について、詳細はまだ示されておらず、国の説明会でも国の予算案が出る頃の年度末に指標が示せるという状況で、計画を策定する際には気にしないようにとされている。基本的には重度化防止がメインになると思うので、第7期計</p> |

| 発言者 | 審議の内容（審議経過・決定事項等） |
|-----|---|
| 委員 | <p>画に記載する内容、それを踏まえた認定者数、認定率の推計はより精査していきたいと思う。</p> <p>P 9 「3. 地域共生社会の実現に向けた取組の推進」について、「障害福祉サービス事業所等であれば介護保険事業所の指定を受けやすくする特例が設けられる」とあるが、現状では障害福祉サービスと介護保険サービスではサービスの中身も利用者負担額も大きく違い、利用者が65歳になった時に大変混乱している。共生型サービスが開始される際には、利用者に対して丁寧な手厚い説明が必要であると感じる。</p> <p>また、平成30年8月から負担割合が2割から3割に引き上げられるということだが、利用者や関係事業者への丁寧な説明をする必要がある。実際、現時点で何%の方が対象になるのか？</p> |
| 事務局 | <p>所沢市単独で算出していないが、厚生労働省からは要介護認定者全体の3%から4%が3割負担になる予定と示されている。障害福祉サービスと介護保険サービスでは、介護保険サービスを優先するように法律で定められている。本計画の見直しと同じタイミングで障害者支援計画についても見直しを行っており、まだ担当者間での話ではあるが、移行期については慎重な対応が必要だと認識しており、利用者、支援者、家族が混乱しないよう丁寧な対応に努めたいと考えている。</p> |
| 委員長 | <p>障害者施設にいる方が高齢者になって介護保険サービスに移行する時に負担は増すのか？</p> |
| 事務局 | <p>障害者施設についての詳しい内容を把握していないが、障害福祉サービスでは一部負担を軽減されるケースもあり、介護保険サービスに移行することで負担が増えるというケースはある。</p> |
| 委員 | <p>そのあたりは所沢市として何か調整はするのか？</p> |
| 事務局 | <p>移行を円滑に行いたいという考え方はあるが、法律上介護保険を優先とすると定められているため、この方は介護保険サービスに移行しないという特例はできない。ただ、障害者制度にしか</p> |

| 発言者 | 審議の内容（審議経過・決定事項等） |
|-----|--|
| 委員 | <p>いサービスについては継続してサービスを受けられるようになっている。</p> <p>資料がグラフや図式、表が多くなり大変見やすくなったと思う。文章だけであると、福祉計画は専門用語の羅列になってしまい一般的には理解が難しいので今後もこの様なスタイルを続けてほしい。</p> |
| 委員 | <p>P 9 「2. 介護療養病床の経過措置期間の6年延長」介護医療院について、詳しく説明を聞きたい。</p> <p>また、P 26 「(5) 地域との関係」について、富岡地区は「関係をもちたい」と回答している方が多いという結果になっているが、800世帯約3,000名が住んでいる分譲地がある自治会で調査をすると、残念ながら「関わりたくない」という回答がほとんどである。何千名かが住んでいる分譲地が富岡地区にあり、今回のアンケート結果の数値だけではないということも理解してもらいたい。</p> |
| 事務局 | <p>現在介護療養病床という、介護保険が適用される病院のベッドがある。「社会的入院」という言葉があるように、「医療的な措置は必要ないが自宅での生活ができないので入院を続ける」という社会問題があり、介護療養病床が居場所になっている。こうした状況から、国では10年ほど前に、在宅で十分なサービスを受けられる体制を作ったうえで介護療養病床をなくしていくという方針を示しており、平成32年度末までに廃止される予定である。一方で、医療と介護の連携施策が進められている中、医療と介護のニーズを併せ持つ方がいることから、新たな施設類型として、「介護医療院」が創設されることになった。主に医療法人等が担うことになると思うが詳細が示されていないため、分かり次第医療機関等と調整をして参入するか確認していきたいと考えている。</p> |
| 事務局 | <p>地域との関係について、ご意見を参考にさせていただき、各地区、地域包括支援センターやまちづくり協議会等の活動と連携しながら対応をしていきたい。</p> |

| 発言者 | 審議の内容（審議経過・決定事項等） |
|-----|--|
| 委員長 | 議題1について、皆さんの意見をまとめていただき、事務局で引き続き検討して欲しい。 |
| 事務局 | <p><u>議題（2）地域包括支援センターの評価について</u> 資料2について説明を行う。</p> |
| 委員長 | 何か質問等はあるか？ |
| 委員 | 特になし |
| | <p><u>議題（3）報告事項</u> <u>松井東地域包括支援センターの所在地変更</u> 参考資料にて報告を行った。</p> |
| | <p><u>地域包括支援センターの職員数</u> 参考資料にて現状の職員数の報告を行った。</p> |
| | <p><u>指定地域密着型通所介護事業所を運営する事業者に対する行政処分</u> 報告資料1にて報告を行った。</p> |
| | <p><u>所沢市第2層生活支援コーディネーター業務委託について</u> 報告資料2にて報告を行った。</p> |
| | <p><u>認知症初期集中支援チームの設置について</u> 報告資料3にて報告を行った。</p> |
| | <p><u>その他</u> 特になし</p> |
| | <p>本日の議事については、すべて了承される。 閉会にあたり、副委員長より挨拶がある。</p> |
| | <p style="text-align: center;">閉会</p> |

| 発言者 | 審議の内容（審議経過・決定事項等） |
|-------|---|
| 《確認欄》 | 平成29年度第3回所沢市高齢者福祉計画推進会議の会議録として承認します。 委員長 _____ 水野 康司 _____ |